

行事の状況は学校によって、また自治体によっても大きく違うと思います。

学校や学校を設置する地域によっては「学校は勉強はするのが当たり前、プラスして地域に賛同される行事をしてもらいたい」と希望する部分があるかもしれませんが、学校にはコミュニケーションが苦手、見通しが見つからない活動は苦手、という子供もいるのです。

かつて教育界では自閉症は成育歴と教育が悪いと、自閉症を無理に教育して逆効果になった悪例があります。この分野は教育での改善が難しく、医療対応となる場合が多いです。

行事が多く、見通しを持ちにくい状況では、支援が必要な子供は見通しが持てず不安になります。運動会 文化祭 修学旅行は 数日の準備と共に必要でしょうが、加えてほかの行事が毎週のようにある状況があるとしたらどうなのでしょう？ 行事ではなく、教科で育てる学校に移行が進んでいるのでしょうか？

このグラフでは、支援が必要な子供は、行事がない週は 見通しが持てて学習効果が上がっています。行事を削減することは、見通しが持てない子供への、効果的な支援となります。

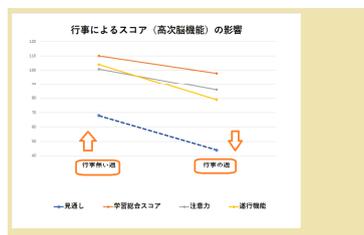
また教師にとっても見通しがつき子供への指導効率も高くなります。

教師が疲れきっていても子供への支援どころか、日々の教育活動すら教育効果が落ちていきます。

朝日新聞のアンケートでは「行事で忙しい」というのが学校をブラック企業化している原因の一番にきています。

行事は教師の負担だけが課題だ。教師の負担が解決すれば 子供にはメリットが大きい。行事はたくさんあればいい、と考えていないでしょうか？

勉強では生き生きできない子供で、行事で輝く子供が出るのは事実です。リーダーにとっても行事活動



なぜ「先生は忙しい」と指摘されると思いますか？

| 理由                       | 件数  |
|--------------------------|-----|
| 単独や学校行事など授業以外の仕事が多いから    | 810 |
| 保護者からの要望などが多く増えているから     | 538 |
| 保護者PTAへの対応に時間がかかっているから   | 444 |
| 授業準備の時間が短く、教員の負担が増えているから | 300 |
| 教える内容が増えているから            | 294 |
| 校長の管理機能が弱そうだから           | 67  |

朝日新聞  
2018年朝日新聞アンケート 朝日新聞デジタル  
調査者の氏名 調査者の内訳

は良い成長の場だと思えます。そして行事は活躍する子供にスポットが当たり、学校も成果を好評価されます。

ですが、一方どうでしょう。

支援が必要な子供にとっては、教科以外の活動を増やせば増やすほど、見通しがつかなくなり、学習に取り組みなくなり、教室に入れなくなります。他にも見通しがつかない行事がマイナスになる子供がいるはずで

その子供達は、行事を減らせば減らすほど、見通しが持てて安心して学校生活を送ることができます。学校サイドから見れば、行事は格好の成果アピールの場です。保護者も地域も喜びます。

教員になる人は行事等で活躍してきた人が多いので、行事で見通しが立たず、不安になる子供は見落としがちです。コミュニケーションが苦手な一日中集団活動、では、苦しい子供もいます。

行事を歓迎する生徒や保護者、地域がいるのは確かです。ですが、行事で疲弊する教員、プラスして行事で不安になる生徒達もいる。

疲弊した教員と支援が必要な子供を配慮せず、大幅な行事削減に手を付けず進んでいいのか？という問題提起です。



END